

町民有志の会 夢ふたば人

故郷に帰る日が来るまで、町民に夢を与え続ける

震災後の全町避難が続く福島県双葉町で江戸時代から続く「ダルマ市」は、地域で大切にされている冬の伝統的な祭りである。「町民に夢と希望を与え、元気な姿を全国の避難者にも届けたい」と若きメンバーが避難先の一ついわき市で途切れることなく開催している。

取組のPOINT

ヒト 避難生活の後いわき市へ

着眼点 ダルマ市の開催で希望を

連携・協働 町ぐるみで伝統行事を守る

持続性 意志を次世代につなげたい

DATA

取組主体 町民有志の会 夢ふたば人

取組内容 「ダルマ市」の開催

人物紹介

会長 中谷 祥久 (なかや よしひさ)

**ヒト** 避難生活の後いわき市へ

東京電力福島第一原子力発電所の事故による全町避難によって、双葉町民は今もなお故郷を離れ、全国で生活を送っている。

町民有志の会「夢ふたば人」の会長を務める中谷祥久さんは、福島県川俣町や神奈川県横浜市、埼玉県加須市での避難生活を経て、2011年9月にいわき市の仮設住宅居に入居。現在は同市内に新居を構えて家族と暮らしている。

仮設住宅で生活していた2011年10月のある日、同じ双葉町から避難生活を送る仲間2人と一緒に酒を飲んでいた時に、話題になったのが「ダルマ市」のこと。故郷双葉町で300年以上前から続く冬の伝統行事で、縁起物の「双葉ダルマ」を多くの人買い求める。会場には露店が並び、巨大ダルマを町民が引き合う「巨大ダルマ引き合戦」や商売繁盛を願い練り歩く「ダルマ神輿」などが行われていた。



巨大ダルマ引き合戦の様子

着眼点 ダルマ市の開催で希望を

双葉町民が避難先でバラバラになって暮らす中で、ダルマ市を開催することが難しい状況だった。仮設住宅の住民の中で比較的若い世代だった3人は、「避難生活が続いても故郷の伝統行事を絶やしたくない」という気持ちを共有。故郷を離れ町外で避難生活を送る町民たちに、帰還への夢と希望を持ってもらおうと「夢ふたば人」を立ち上げ、地域の伝統行事開催に向けて動き出した。団体名には、震災で夢や希望を失いかけている双葉町民に夢を与え続ける存在でありたいという想いを込めた。

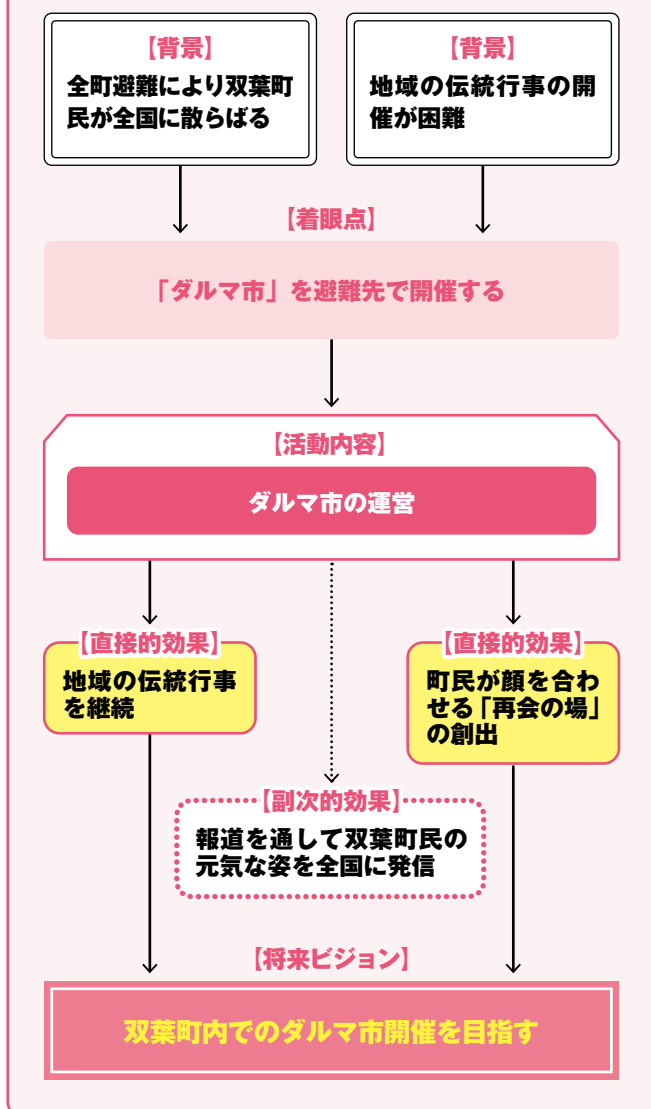
中谷さんたちは、町役場や商工会、観光協会など関係各所との調整に奔走し、2012年1月中谷さんらが入居するいわき市南台応急仮設住宅においてダルマ市の開催にこぎつけた。

盆踊りやダルマ市は、双葉町への帰還が困難な中、町民が顔を合わせる貴重な「再会の場」となった。「関係者や参加者の皆さんから『ありがとう』『お前らがいれば、双葉は大丈夫だ』と声を掛けていただき、とてもうれしいです」と中谷さんは話した。

連携・協働 町ぐるみで伝統行事を守る

ダルマ市の準備は、毎年11月に実行委員会が開かれ、夢ふたば人が町役場や商工会、観光協会など関係各所との調整を担当する。

2016年には、6年ぶりに巨大ダルマ引き合戦が復活した。高さ3.3メートル、重さ700キロの巨大ダルマを南北に分かれて引き合うもので、3本勝負で北が勝つと「無病息災」「豊

故郷に帰る日が来るまで、
町民に夢を与え続ける

年満作」、南が勝つと「商売繁盛」「家内安全」と判定される。震災前に使用していた巨大ダルマは、避難時に運び出すことができなかつたため双葉町観光協会が作り直した。

2019年からは「県営住宅勿来酒井団地」に会場を変更し、継続して行っている。

「団体の立ち上げ当時は、私も所属している双葉町消防第二分団員が中心でしたが、他の町民や町内の企業で働いていた方もメンバーに加わりました」と中谷さん。祭りの当日に県内外から駆けつけて協力を申し出る人もいるという。

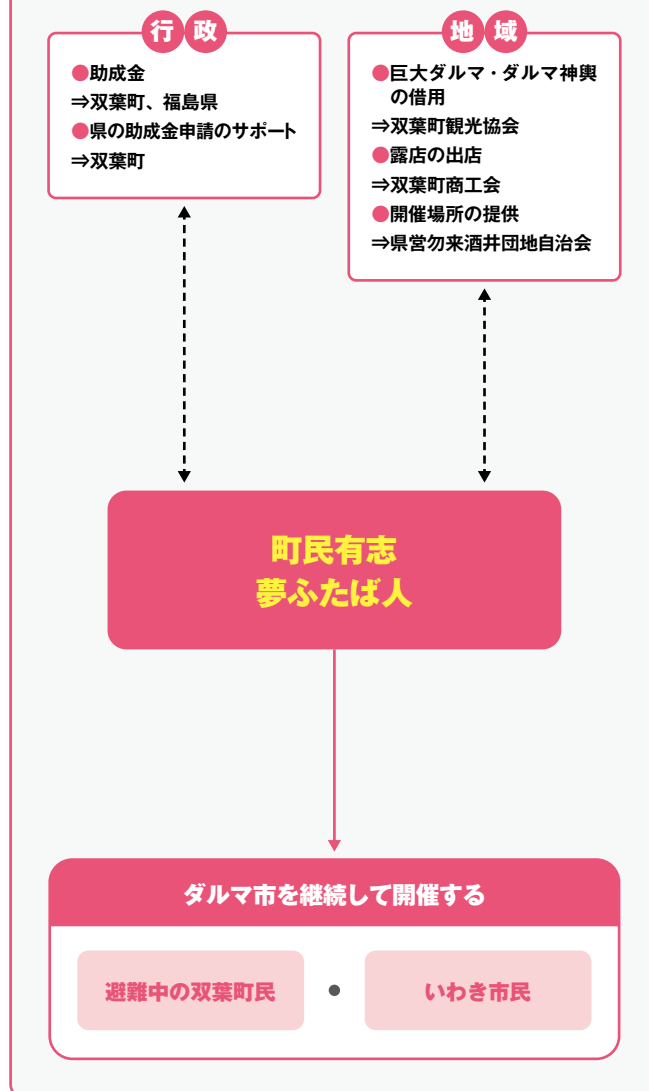
持続性

意志を次世代につなげたい

「将来の目標は、やはり双葉町内で再びダルマ市を開催することです」と中谷さんは言葉に力を込めた。

2020年3月、町内で初めて一部地域の避難指示が解除され、復興へ新たなステージを迎えた。その一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2021年のダルマ市は中止を余儀

プロジェクトの連携・協働の図



なくされた。これを受けて双葉町消防第二分団員の有志は1月に、双葉町で避難指示が解除された地域に開所した双葉町産業交流センター前でダルマの販売と巨大ダルマ引き合戦を開催。一部ではあるが10年ぶりにダルマ市が故郷に戻った。

「これからも頑張れる間は自分たちが活動を続けて、次の世代につないでいけたらと思っています。そして、故郷に祭りが戻ってきたときに、『夢ふたば人』の力を町民の皆さんが感じてくれたらうれしいですね」と中谷さんは語った。

町民有志の会 夢ふたば人

震災後に福島県双葉町から避難する住民有志が集まり、2012年1月から地域の伝統行事「ダルマ市」をいわき市内で実施している。

